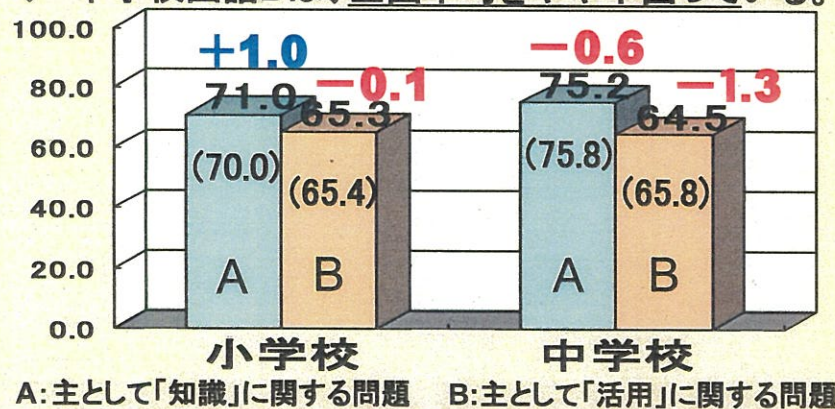


平成27年度全国学力・学習状況調査に係る福島県の結果

【国語】

※数字は本県平均、()内数字は全国平均

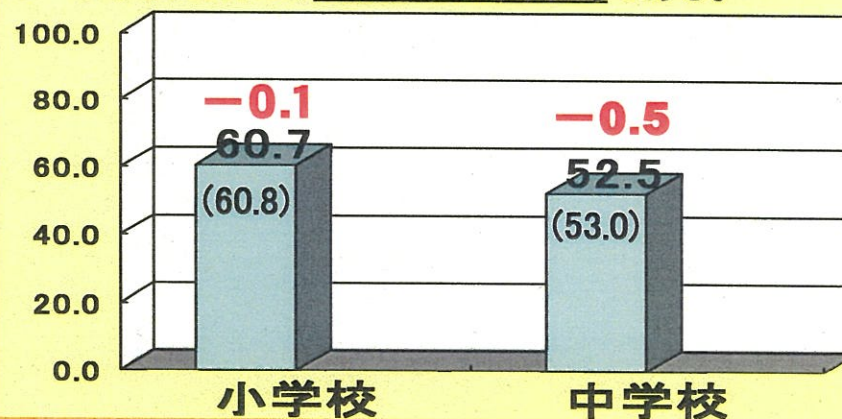
- ◆ 小学校国語は、おおむね全国平均である。
- ◆ 中学校国語Bは、全国平均をやや下回っている。



【理科】

※数字は本県平均、()内数字は全国平均

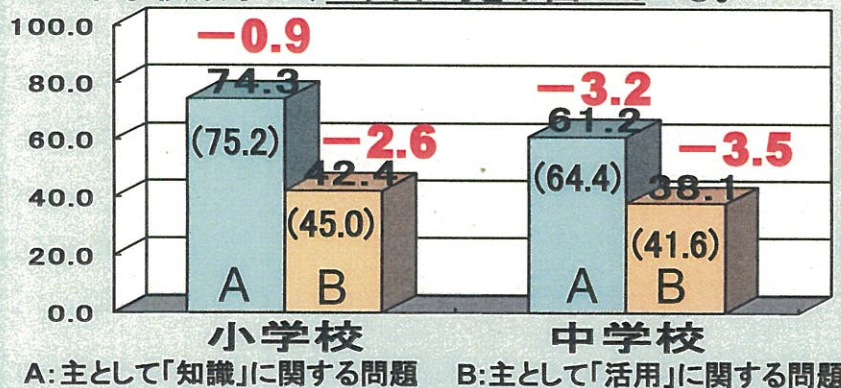
- ◆ 小学校理科は、おおむね全国平均である。
- ◆ 中学校理科は、おおむね全国平均である。



【算数・数学】

※数字は本県平均、()内数字は全国平均

- ◆ 小学校算数は、全国平均を下回っている。
- ◆ 中学校数学は、全国平均を下回っている。

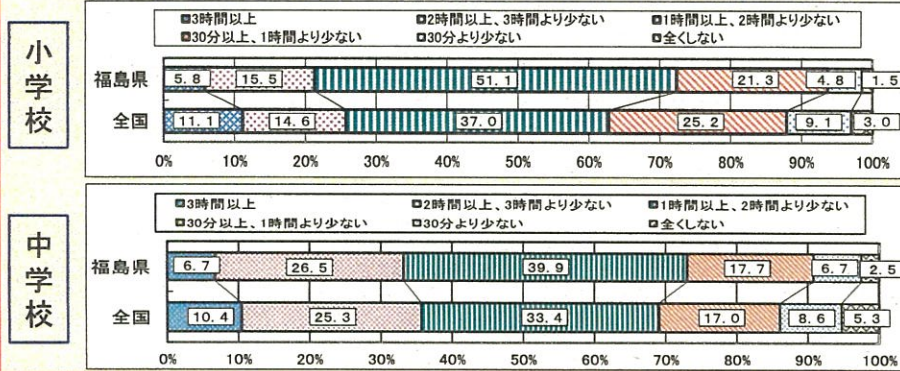


〈教科に関する結果の総括〉

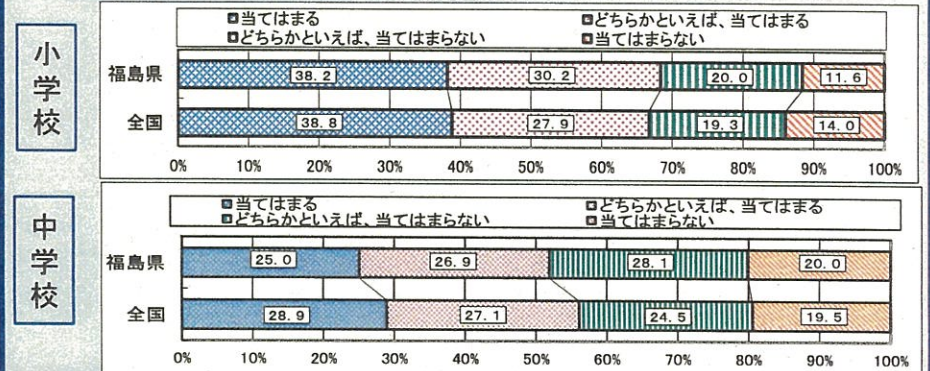
- 小学校国語及び小・中学校理科はおおむね全国平均であるが、中学校国語は全国平均をやや下回っており、小学校算数及び中学校数学は全国平均を下回っている。
- 知識・技能のより確実な定着とそれらを活用して課題を解決する力の育成に取り組む必要がある。
- 日頃から「わかる・できる授業」を目指すとともに、児童生徒の思考力・判断力・表現力等を高めるための学習指導の改善に、より一層取り組む必要がある。
- 児童生徒一人一人へのきめ細かな支援や学習状況の改善等に取り組んでいく必要がある。

平成27年度全国学力・学習状況調査に係る福島県の結果

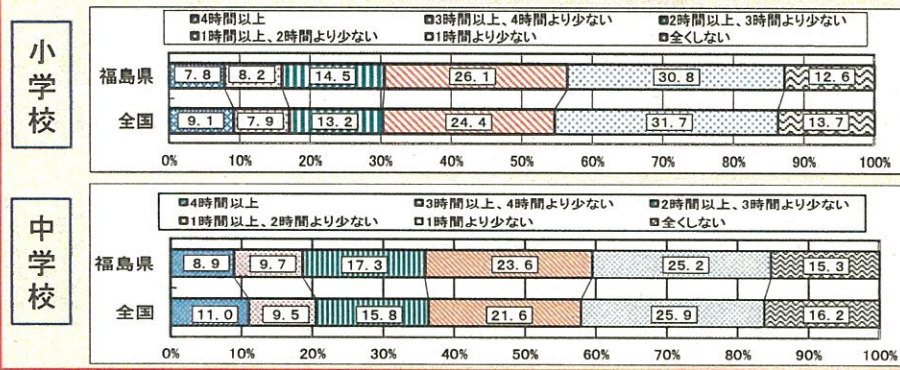
「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」



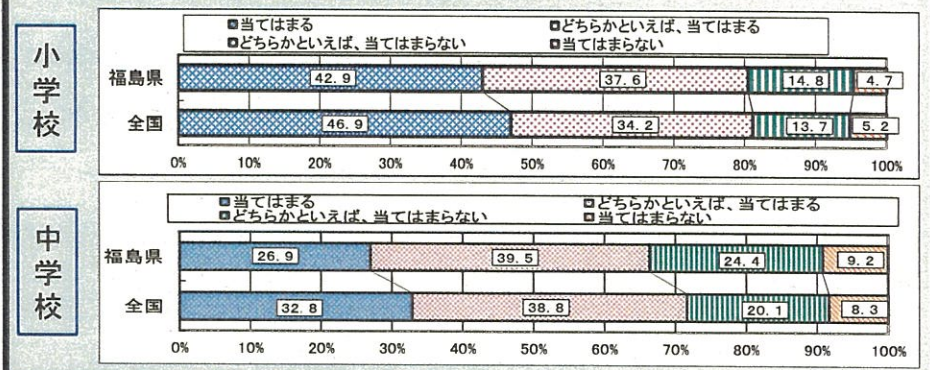
「算数・数学の勉強は好きですか。」



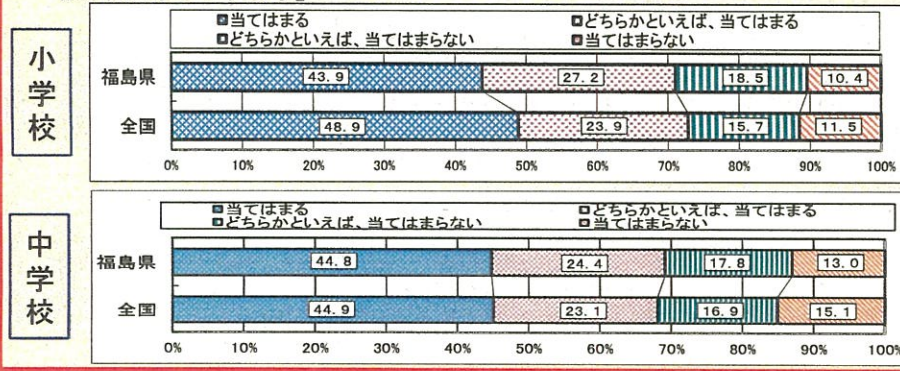
「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。」



「算数・数学の授業の内容はよくわかりますか」



「読書は好きですか。」



〈質問紙調査に関する結果の総括〉

- 一定の家庭学習の時間は確保されているが、テレビやビデオの視聴時間やゲームをする時間も少なくない。今後、個に応じた学習内容に取り組みせたり、読書の時間に充てさせたりするなど、家庭学習の質的な充実が求められる。
- 算数・数学の勉強が「好き」、「よくわかる」という設問に対しては、特に中学生の回答が全国平均を下回っている。児童生徒の学習意欲を喚起し、わかる・できる授業を目指し、日々の授業を改善していくことが重要となる。